

富山県人口の推移と未来へのビジョン ~2060年に総人口80.6万人をめざす~

富山県人口ビジョン

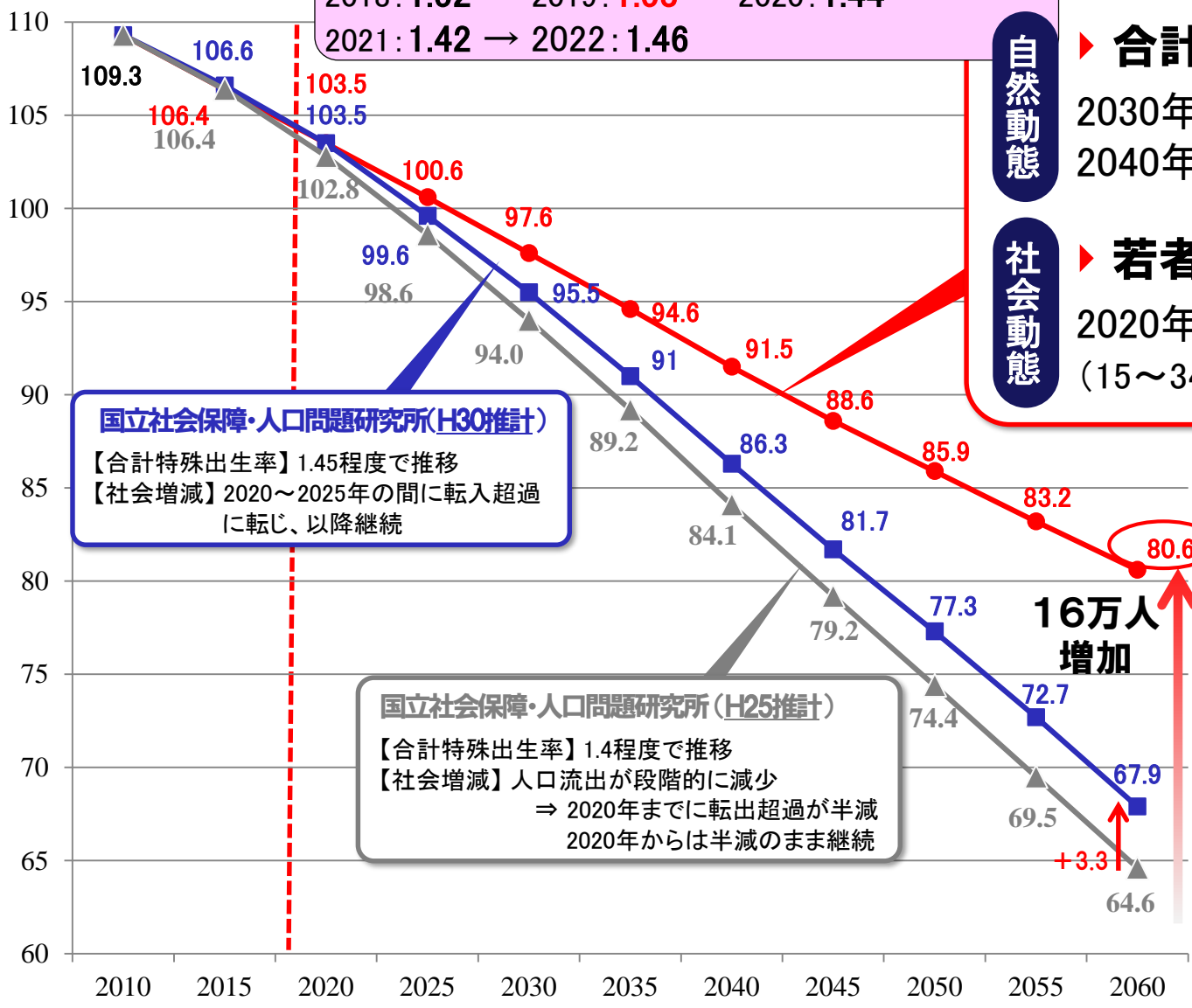
自然動態

- ▶ **合計特殊出生率の上昇**
 2030年 県民希望出生率 1.9 を達成
 2040年 人口置換水準 2.07 を達成

社会動態

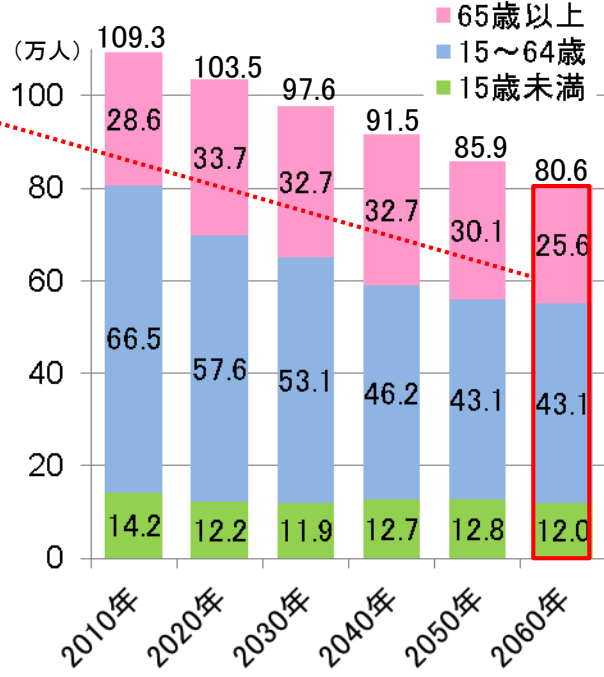
- ▶ **若者の転出抑制と転入促進**
 2020年 若者世代の移動均衡を達成
 (15~34歳の1,550人の転出超過を改善)

2006~07: 1.34 → 2016: 1.50 → 2017: 1.55 →
 2018: 1.52 → 2019: 1.53 → 2020: 1.44 →
 2021: 1.42 → 2022: 1.46



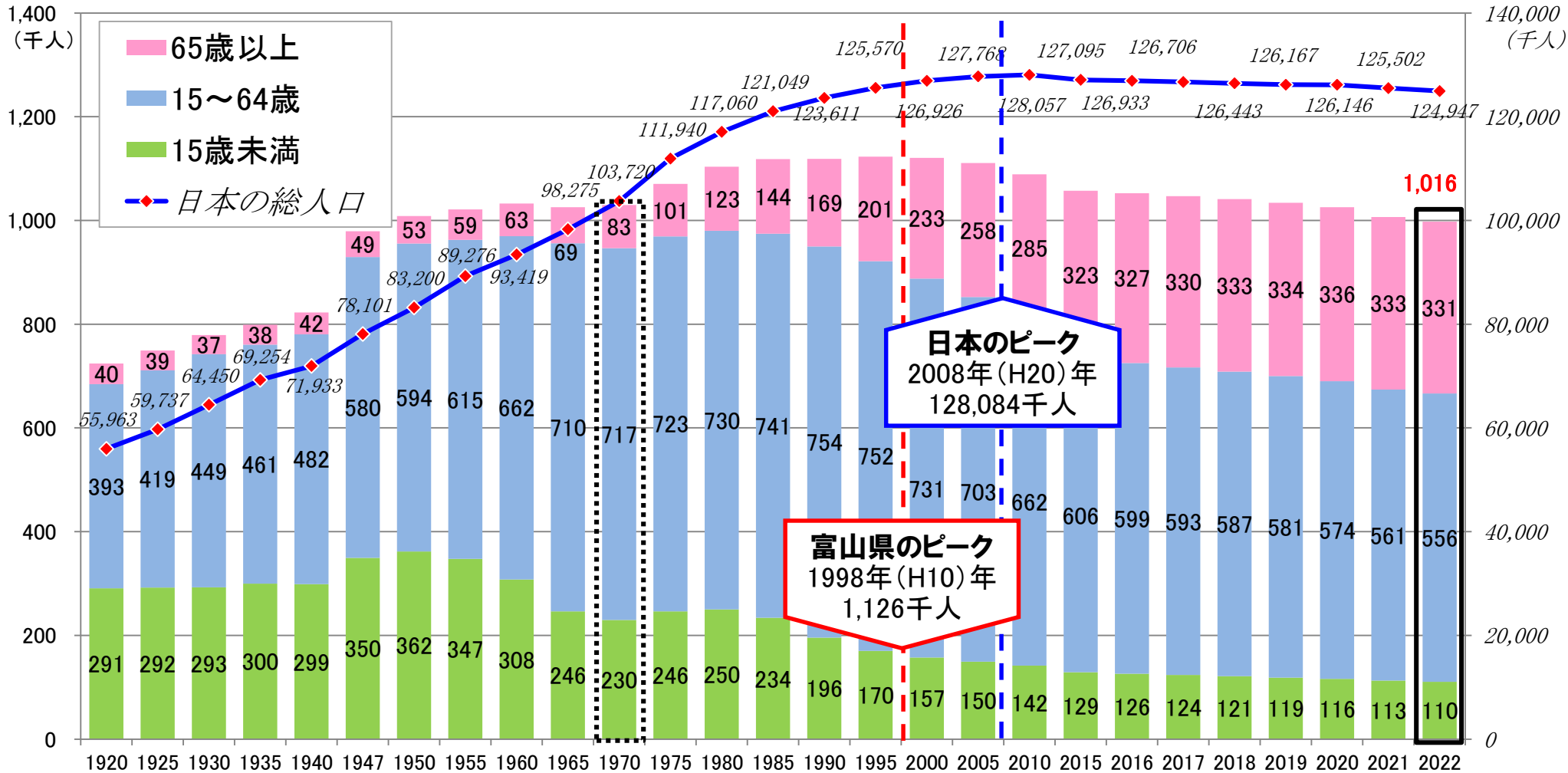
国立社会保障・人口問題研究所(H30推計)
 【合計特殊出生率】1.45程度で推移
 【社会増減】2020~2025年の間に転入超過に転じ、以降継続

国立社会保障・人口問題研究所(H25推計)
 【合計特殊出生率】1.4程度で推移
 【社会増減】人口流出が段階的に減少
 ⇒ 2020年までに転出超過が半減
 2020年からは半減のまま継続



進む少子高齢化 ～我が国と富山県のこれまでの人口推移～

- ★ポイント① 富山県の人口は、全国より10年早い1998(H10)年をピークに減少に転じる
- ★ポイント② 現在の県人口は1970(S45)年並み⇒構造的に年少は半分で老年が約4倍に！
- ★ポイント③ 生産年齢人口(15～64歳)は減少傾向が続く



(出典) 総務省統計局「人口推計」、富山県「人口移動調査」(何れも各年10月1日現在)